

## 教育情報の公開と利用

少人数セミナー eラーニング入門

2007年12月10日

情報基盤研究開発センター 井上仁

This work is licensed under a [Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 License](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/).

## MIT OpenCourseWare

The screenshot shows the MIT OpenCourseWare website. At the top, it says 'MIT OPEN COURSEWARE MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGY'. Below that, there's a search bar and a navigation menu. The main content area features a 'Welcome to MIT's OpenCourseWare' message, followed by a list of course categories like 'Advanced Topics', 'Available Courses', 'Architecture and Architecture', 'Artificial Intelligence', 'Architecture', 'Athletics, Physical Education and Recreation', 'Biological Engineering', 'Robotics', and 'Brain and Cognitive Sciences'. There's also a 'Partners in Sharing' section mentioning 'Ab Initio' and a testimonial from a student named 'Kurt Adams'.

## MIT OCWとは

- MITでは、eラーニングに関する学内戦略の検討の結果、MITで開講されるすべての授業(約2,000)の資料を無料で全世界に公開することを決定(2000年)
- 2002年から公開を開始、2007年秋現在で1,800のコースを公開済み
- <http://ocw.mit.edu/>

## MITのOCW開始理由

- MITのミッションである
- 今までは基礎研究での貢献、これからは教育において貢献すべきである
- 活動することによって教育者としての価値観を高める
- 大学で作っている教材をオープンにするというモデルを作りたい
  - OCWのムーブメントを世界に広めたい

## 世界における動向

- Universia
  - Universia.net
  - スペイン、ポルトガル、南アメリカの840大学ネットワーク
  - スペイン語とポルトガル語への翻訳
- Core (China Open Resources for Education)
  - 中国100大学がメンバー
  - 中国語への翻訳

## OpenCourseWare Consortium

The screenshot shows the OpenCourseWare Consortium website. It features a header with the text 'OPEN COURSEWARE CONSORTIUM' and a navigation menu. Below the header, there are three main sections: 'USE' (Find Course Materials), 'SHARE' (Share Your University's Courses), and 'SUPPORT' (Support the OCW Movement). The central part of the page has the text 'OPEN SHARING, GLOBAL BENEFITS' and a background image of a library and a person using a laptop.

## 日本におけるOCW活動

- 2004年秋にMITから日本の主な大学に打診
- 2005年5月 日本OCW連絡会結成
  - 大阪大学、京都大学、慶應義塾大学
  - 東京工業大学、東京大学、早稲田大学
- 2005年秋
  - 九州大学、名古屋大学、北海道大学が加入
  - 名古屋大学は、2005年12月にOCWサイト公開
- <http://www.jocw.jp/>
- 2006年4月 日本OCWコンソーシアム

7

## 日本オープンコースウェアコンソーシアム

- <http://www.jocw.jp/>



8

## 日本オープンコースウェアコンソーシアム

### 正会員

東京大学、京都大学、慶應義塾大学、  
大阪大学、早稲田大学、東京工業大学  
名古屋大学、北海道大学、九州大学  
同志社大学、筑波大学、関西大学  
京都精華大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学  
女子栄養大学、明治大学

### 賛助会員

メディア教育開発センター  
高度情報映像センター、サイバーキャンパスコンソーシアム  
日本eラーニングコンソーシアム  
クリエイティブ・コモンズ・ジャパン

9

## 九州大学オープンコースウェア

- <http://ocw.kyushu-u.ac.jp/>
- 2006年4月公開



10

## OCW参加の意義

- 高度で高品質な九州大学の授業コンテンツの公開
- 学内教育情報の集約化・体系化・構造化による有機的な情報の提供



- 社会貢献
- 教育のブランド化



- 優秀な学生の入学
- 企業との連携

11

## 大学、部局、教員にとってのメリット

- 部局および教員自身の教育活動の広報
- 学期や年度を越えての学生への長期的な学習上の支援
- 入学生、および研究室の学生の確保
- 授業に関して同僚・同業の研究者、社会からの批評を受けることを通じた教育を改善する契機
- 研究を社会に役立てる手段
- 内容の充実を通じ九州大学の声価を高め、大学に対する社会の信頼と理解の獲得

12

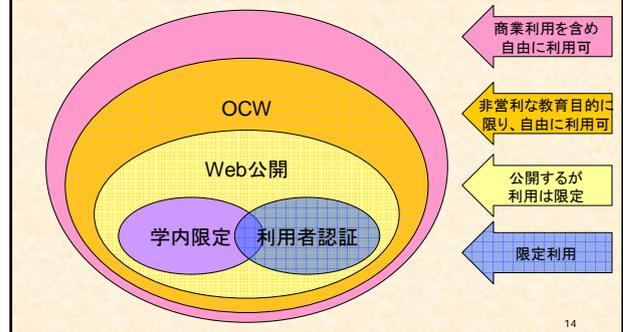
## GLOBE (<http://www.globe-info.net/>)



- NIME-glad
- MERLOT
- ARIADNE
- EdNA Online
- LORNET

13

## コンテンツ公開の階層

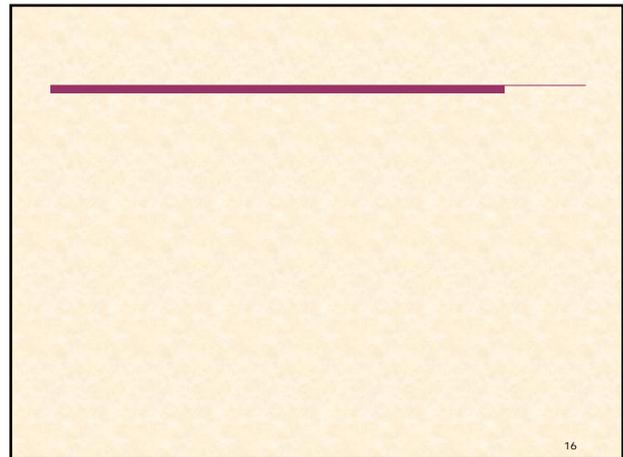


14

## 九大OCWにおける著作権

- 著作者は教員
- 著作権者は教員(場合によって部局、大学)
- 九大OCWは、送信可能化権を著作権者から許諾してもらっている
- 九大OCWでは、九大OCWのコンテンツに対して、**非営利な教育目的に限り**、複製権、送信可能化権、翻案権、翻訳権等を利用者に無料で許諾する
- 著作権は、**教員(部局、大学)**が保有している

15



16



# オープンコースウェア

## —教育情報のインターネット上での無償公開活動—

いのうえ ひとし  
井上 仁

### オープンコースウェアとは

オープンコースウェア(OCW)は大学で提供されている授業等の教育に関する情報をインターネット上で無償で公開する活動であり、授業のシラバス、カレンダー、講義ノート、参考文献、レポート、試験等の情報を提供しています。OCWで提供される資料は基本的に非営利・非商用であれば自由に利用することができます。

OCWの活動は2001年に米国マサチューセッツ工科大学(MIT)によって最初に開始されました。MITではOCWを展開するにあたり次の二つのミッションを掲げていました。一つはMITの授業資料を世界に無償で提供するというOCWのモデルを確立することであり、もう一つはOCWのムーブメントを世界中の主要な大学に広めることです。MITでは2006年秋現在で全授業の8割近い約1,450コースを公開しており、2008年にはすべての授業資料を公開する計画です。MITのOCWによって公開されている情報は世界中の教育現場で広く利用されています。またOCWのムーブメントは世界各国に広がりつつあり、オープンコースウェア国際コンソーシアム(<http://www.ocwconsortium.org/>)に掲載されている大学は100以上に上ります。

日本では2004年頃からOCW活動の準備が主な大学で開始されました。2005年5月に大阪大学、京都大学、慶應義塾大学、東京工業大学、東京大学、早稲大学の6大学が同時にOCWサイトを公開するとともに、各大学間での情報交換と連携を目的として日本オープンコースウェア連絡会が発足しました。九州大学では、2005年9月に学内審議を経てOCWのムーブメントに合意(日本オープンコースウェア連絡会への参加を表明)し、2005年12月に日本オープンコースウェア連絡会への参加が認められました。同時期に名古屋大学と北海道大学も参加が認められ、メディア教育開発センターも協力団体として参加し、10の機

関での活動となりました。その後日本オープンコースウェア連絡会は、2006年4月に京都大学で開催されたオープンコースウェア国際会議を機に日本オープンコースウェアコンソーシアムと名称を変更し、日本におけるOCW活動の援助と普及することを目的とした活動を行っています(<http://www.jocw.jp/>)。その後コンソーシアムには、新たに関西大学、筑波大学、同志社大学、京都精華大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学が正会員として、高度映像情報センターとサイバーキャンパスコンソーシアムTIESが賛助会員として参加し、2006年11月現在で18の大学等の機関が参加しています。



日本オープンコースウェアコンソーシアム  
(<http://www.jocw.jp/>)

### 九州大学オープンコースウェア

九州大学では、2006年4月のオープンコースウェア国際会議を機に「九州大学オープンコースウェア(九大OCW)」としてOCWサイトを公開し、2006年11月現在で22のコースを提供しています(<http://ocw.kyushu-u.ac.jp/>)。

九大OCWでは、MITや他の大学と同様に正規の授業のシラバス、カレンダー、講義ノート、参



考文献, レポート, 試験等の情報を公開しており, 一部のコースでは授業そのものを動画として公開しています。例えば「循環型空間システム」では, 14 回にわたる毎回の授業のほとんどを動画配信しています。また九大 OCW では, 正規の授業以外も広い意味での教育と考えており, 最終講義や講演会, 講習会等の情報も公開しています。



九州大学オープンコースウェア (<http://ocw.kyushu-u.ac.jp/>)

### オープンコースウェアの意義

各大学が OCW のサイトを公開する目的はさまざまですが, 次のような意義があると考えます。大学生のみなさんは, 授業が終了した学期や年度を越えて授業資料を閲覧することができます。また他大学で開講されている類似の授業や自分が履修した授業以外の資料を閲覧することにより学問的視野を広げることができます。これから大学への進学を志す方には, 大学で行われる授業を垣間見ることにより自分の将来を見定める足がかりになります。社会人の方は, 生涯学習の一手段として利用することができます。教員にとっては, 他の授業の教育資源を再利用することができ, 質の高い授業を実施することが可能になります。また, 自らの授業資料を社会に公開することによって世の批評を仰ぎ, その内容を改善していく契機となります。大学にとっては, 大学で行う教育の資料を公開することによって社会に貢献すると

もに, 教育内容に関して社会の信頼と理解を得ることができます。

これらは OCW 以前から実施されてきたことですが, OCW という一つのサイトに情報を集約し他の情報と関連づけることにより, 利用者と提供者双方にとって有用になります。

コースリスト						
学部						
コース名	対象学部(学年)	開講年度	教員名	区分	備考	
情報処理基礎演習	全学部(1学年)	2005年度	藤村 直美 教授	講義		
情報処理演習	全学部(1学年)	2006年度	菅沼 明 助教授	講義		
情報処理演習	全学部(1学年)	2006年度	菅沼 明 助教授	講義		
医療倫理学	全学部(高年次)	2005年度	丸山 マサ美 講師	講義		
数値解析	理学部(3学年)	2005年度	青柳 睦 教授	講義		
並列アルゴリズム	理学部(3, 4学年)	2005年度	青柳 睦 教授	講義		
計算理論	理学部(3学年)	2005年度	竹田 正幸 教授	講義		
臨床医学基本実習	医学部	2005年度	吉田 素文 教授	講義		
コンピュータシステムI	工学部(3学年)	2005年度	天野 浩文 助教授	講義		
コンピュータアーキテクチャI	工学部(3学年)	2006年度	村上 和彰 教授	講義		
情報処理概論	工学部(3学年)	2005年度	井上 仁 講師	講義		
情報処理概論	工学部(3学年)	2005年度	南里 豪志 助教授	講義		
ネットワーク構成運用論	芸術工学部(3学年)	2005年度	藤村 直美 教授	講義		
基礎昆虫学	農学部(2・3学年)	2005年度	多田内 修 教授	講義		
昆虫学	農学部(3・4学年)	2005年度	多田内 修 教授	講義		

学府						
コース名	対象学府(学年)	開講年度	教員名	区分	備考	
循環型(住)空間システム	人間環境学府(修士1学年)	2005年度	川瀬 博 教授 林 徹夫 教授 竹下 輝和 教授 久場 隆広 助教授 近藤 隆一郎 教授	講義		
発見科学への軌跡	任意	2005年度	有川 節夫 教授	最終講義		
データ工学特論	システム情報科学府(修士)	2005年度	天野 浩文 助教授	講義		
広域分散アプリケーション特論演習	システム情報科学府(修士)	2005年度	青柳 睦 教授	講義		
The Applied Genetics and Pest Management I	生物資源環境科学府	2005年度	多田内 修 教授	講義		

その他						
コース名	対象者	開催年度	教員名	区分	備考	
研究用計算機システム講習会	任意	2005年度	南里 豪志 助教授	講習会		
High-Performance Computing Servers Seminar for Foreign Students	留学生	2005年度	天野 浩文 助教授	講習会		

### 九大 OCW で公開しているコース一覧

### おわりに

現在九大 OCW で公開している教育資料はごく一部に過ぎませんが, 各部署の組織的な参加と支援体制の強化によって今後より充実したものにす予定で

在学生のみなさんは九州大学だけでなく他の大学の OCW サイトもぜひ訪問してみてください。教員の方は九大 OCW の趣旨にご賛同いただけましたら, ぜひ授業資料を公開していただきますようお願い致します。

九大 OCW に対して意見やコメント等がある方は [ocw@cc.kyushu-u.ac.jp](mailto:ocw@cc.kyushu-u.ac.jp) にご連絡ください。

(情報基盤センター)